

令和4年度実施事業 点検・検証委員会における意見の概要

第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画に基づき、令和4年度に実施した事業について、点検・検証を行うにあたり、学識経験者や関係団体の代表者などで構成する福岡市人権教育推進計画点検・検証委員会を開催し、事業の実施内容等について意見をいただきました。

開催日時 令和5年10月20日（金）15時00分～16時00分

番号	意見の概要	事務局回答
1	<p>【放課後児童クラブの補助支援員に対する研修について】 放課後児童クラブの補助支援員に対する研修については、オンラインで行われているが、対面のほうが良い。補助支援員として子どもたちを見ていくには、教職員と同じ視点、人権教育の視点でもって、見ていかなければならないと思う。放課後児童クラブは充実していかなければならない事業であり、計画の中に、研修の充実と、その評価があってもいい。</p>	<p>放課後児童クラブの補助支援員としては全体で千人を超える人に協力していただき運営している実態があり、対面で集まっていたのが難しいところがある。研修の仕方はいろいろ工夫していきたいし、研修の内容に人権のテーマは大切なので、今後検討していく。</p>
2	<p>【PTAに対する研修について】 新型コロナウイルス感染症の流行を経て、PTAのあり方も変わってきている。PTAに対する研修については、対面の研修の良さも十分わかっているが、対面によらない研修を実施できないか、ということもあるため、研修は未実施、あるいは縮小という結果ではないかと感じている。</p>	<p>PTAの研修については、2年ほど前からオンライン、オンデマンドの研修も取り入れている。PTAの委員に負担のない形で、できるだけ多くの人に参加しやすいやり方を工夫しながら実施していきたい。</p>
3	<p>【PTAに対する研修の課題や取組みの方向性について】 PTAに対する研修の課題や取組みの方向性に「今後のPTA研修講座等の支援の在り方を検討する必要がある。」と記入されているが、今の支援以上の検討をしているということか。</p>	<p>PTAの研修については、新型コロナウイルス感染症の流行によって参加人数が減っているが、それだけが理由でないこともあるので、どのような手法で研修を実施するのが良いか、検討していく。</p>
4	<p>【不登校の要因について】 スクールソーシャルワーカー等に関する評価で、新型コロナウイルスの影響、とあるが、どういった影響なのか。</p>	<p>不登校の要因については、令和4年度に文科省より「長期化するコロナ禍による生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況が続いたことや、学校生活において様々な制限がある中で交友関係を築くことが難しかったことなど、登校する意欲が湧きにくい状況にあったこと等も背景として考えられる。」という分析が出ており、本市も同様と考えている。</p>
5	<p>【人権読本「ぬくもり」の改訂について】 人権読本「ぬくもり」の改訂について、今後の見直しを確認したい。</p>	<p>「ぬくもり」の改訂については、昨年度に必修題材を実施後の子どもたちへのアンケート及び教職員に対する調査を行っており、それらを踏まえて来年度以降どのような形で検討するか、調整している段階である。</p>

番号	意見の概要	事務局回答
6	<p>【教職員の実態調査後の動向について】 特定業務従事者の人権教育について、教職員の人権教育の実態調査による分析、結果をもとに、令和6年度に向けて何か具体的な施策の検討に入っているのか。</p>	<p>教職員の实態調査の結果をもとに今後施策にどう反映させるか、検討している状況である。</p>
7	<p>【部落問題学習指導事例について】 部落問題学習指導事例について、今年の進捗はどのような状況なのか。</p>	<p>部落問題学習事例については、昨年度までに新しい題材の事例をアップしたので、今年は状況を見ながら、来年度以降、増やすのか、あるいは入れ替えるのか、検討していく。</p>
8	<p>【ふれあい学び舎事業について】 ふれあい学び舎事業が再開されたが、事業に参加する子としない子がいる。私から見て参加したほうがいいと思う子については、親に説明して、やっと参加する子も出てきた状況がある。事業が再開されて良かったと思うし、今後も充実・推進していただきたい。</p>	<p>ふれあい学び舎事業については、学力に課題がある子など本当に来てほしい子には直接学級担任の教職員等が連携しながら声かけするよう、学校にはたらきかけている。</p>
9	<p>【福祉体験活動について】 小中学校を中心に福祉体験活動をしているが、体験することで障がいに対する子ども達への意識が変わってくる。しかし、福祉体験活動をする学校としない学校がある。学校の方針もあると思うが、学校で体験活動を受け入れる機会をもっとつくりたい。</p>	<p>子どもたちにとっては福祉体験活動をしたり、障がいのある当事者と出会うことは大切な機会であり、体験活動にご協力いただき感謝している。教育委員会として、学校に活動の窓口を紹介しているので、今後とも協力をいただきながら、子どもたちの活動体験、活動の場を豊かにしていきたい。</p>
10	<p>【引きこもりについて】 地域の中で引きこもりの人が意外と感じている。小学校や中学校で不登校やいじめを経験する流れで引きこもりが生じている。人権教育をじっくり取り組んでいかないといけないと思う。</p>	